

経営改善普及事業取組事例

会議所名：亀山商工会議所

指導員名：宮崎博功

【企業概要】

組織形態：株式会社、資本金：3,000千円、業種：交通運輸業、従業員数：7名、支援テーマ・内容：[経営向上] イバウンド対応可能なハイブリッド型運送事業の展開

【支援に至った背景～経緯】

起業後間もない創業期の同社に限らず、典型的な設備投資産業である交通運輸業においては、資金調達の経営支援ニーズがあり、特にここ数年は増車等の相談を受け、各種貸付制度を案内した。

【支援の経過】

- 平成26年10月 第二創業後のフォローアップ（経営課題の整理）
- 平成27年1月 初期における公的融資の活用
- 平成28年12月 追加投資にて制度融資の積極活用
- 平成29年4月 今後の経営向上のための戦略の方向性の確認
- 同年8月 三重県版経営向上計画の申請、同計画認定

【支援のポイント】

- 経営課題の整理
 - ・ 創業期の課題：事業継続（売上の安定確保・資金繰り）
 - ・ 成長期の課題：差別化（受注ニーズの多様化への対応・稼働率UPへ（受注の通年化対策：プロモーション））
- 支援のポイント
起業支援では、創業時に加え、数年後の事業継続と次なる事業展開のためのフォローアップ等の伴奏型支援がポイント。

【支援の効果・成果】

○ まずは、創業前・後やフォローアップ時の追加投資での設備資金のように、中・長期間に渡る大きな借入の場合、低利で固定金利の方が得策なため、制度融資の活用を促進した結果、円滑な資金調達に資することとなった。

○ 次に、多様な工業集積に加え、高速道路のJCT・ICや、亀山駅がJR東海・西日本の各路線の結節点となっているなど、陸上交通の要所という亀山市の立地上の利点を生かし、創業から成長期への移行期にあたり、周辺事業を営むグループ企業等と連携し、これまでのBtoB取引中心の受注に加え、今後新たにBtoC取引を獲得するべく、設備投資も含む中期的な経営計画の策定に着手するよう提案し、ブラッシュアップした結果、三重県より経営向上計画ステップⅡの認定を受けた。その際、策定した事業計画を実行に移し、グループ企業との協業シナジー（相乗効果）を創出するため、各種支援制度等を積極活用するなど、ハズル支援を行った。

- ・ 経営計画の作成
 - ① 3C（顧客・競争・自社）分析
 - ② SWOT（強み・弱み・機会・脅威）の分析
 - ③ 上記を踏まえ、SO戦略にて経営計画の作成この取り組みによって、自社の強み・経営課題等について、代表者と後継者等が全体的に再認識でき、今後の差別化戦略を明確化することができた。

【支援策企業の声】

- ・ 経営指導員のアドバイスで、思い描いた通りの計画が策定できた。
- ・ 今後も利用できる制度等があれば、積極的に活用したい。